

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 20日

事業所名: デイサービスレイラニ名護大東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		指導訓練室は72㎡で十分であり、時折外出支援(公園、体育館)も行っております	
	2	職員の配置数は適切である	7		法令に則った職員配置数です	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		現在室内で車いすを使用する児童はおりません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎朝、始業前の全員参加による清掃作業により清潔感を維持している	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		PDCAサイクルの勉強会を年1回の頻度で行っている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		年1回の保護者による事業所評価結果を職員周知およびHP掲載公表を行っている	避難訓練実施の内容を保護者が確認できるようにSNS等で発信し改善する
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	5		改善に努めてまいります
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・月1回以上の全員参加勉強会を実施 ・所外では強度行動障害支援者講習等の講習会に3名参加済みで今後も積極的に受講していく	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		リタリコ発達ナビソフトのツールを活用しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		児童発達支援ガイドラインの職員勉強会内での読み合わせを実施	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		児童官作成の個別支援計画に基づいて支援が行われている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		毎月のふり返し作業と翌月のプログラム予定等の作業を全員参加で行って決定している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		同上	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝の朝会では、前日の振り返りと当日支援について全職員にて情報共有を欠かさず行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		職員間の情報共有作業は欠かさず行っている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		事業所日誌にて記録および情報共有を徹底し、支援の検証・改善につなげている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	6		現状、社協等関係機関からの協力要請を受けていないが、今後あった場合は取り組んでいく予定
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			7	該当児がおりません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			7	該当児がおりません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7			
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	外部委託でのペアレント講習の案内文を適時配布している	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4		開所時に保護者交流会を開催したが、昨年度は実施に至っていないため、今年度は実施を計画する
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	毎月の行事予定を児童や保護者へ掲示、配布によって発信している	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	7		個人情報に関するデータ一切の社外持ち出し禁止を徹底している	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3	公民館を使用しているイベント開催や近隣の同業の事業所との合同イベント開催は実施済み	地域住民を招待する行事の開催には至っておらず、改善に努めてまいります
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			対象の児童は保護者経由で医師からの情報を共有している
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		虐待は絶対に行ってはならない趣旨の資料を読み合わせ、配信動画視聴にて周知徹底を実施しています	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。